

7月の園だより

令和6年6月27日
杉並区立西荻北子供園
園長 須田 なぎさ

「異年齢との交流を通して」

副園長 小森 三奈子

新型コロナウイルス感染症が落ち着き、今年度から再開された活動の1つに、地域との交流が挙げられます。先日は、年長組がゆうゆう上荻窪館に出かけて交流してきました。

ゆうゆう館では、職員や高齢者の方が輪飾りなどの飾りつけをした会場で、笑顔で迎え入れてくださいました。最初は少し恥ずかしそうな様子の幼児もいましたが、歌「青い空に絵をかこう」と「園歌」を素敵な声で自信をもってみんなで歌っていました。高齢者の方は、その様子を嬉しそうに見てくださり、大きな拍手をしてくれました。ゆうゆう館の方が用意してくださった輪投げ遊びでは、4つの色のチームに分かれて一緒に遊びました。高齢者の方が「頑張ってー」と励ましてくれたり、輪が入ると、「上手ね」「やったー」と褒めてくださったりして、楽しいゲームの時間になりました。この頃になると緊張もほぐれ、自然と会話が弾んでいます。

最後の握手では、どちらも笑顔で別れがたい姿が見られました。年長児は「ありがとう」「楽しかったよ」「また来てね」と言ってもらい、お土産（折り紙でつくったコマ）をもらってとても嬉しそうでした。

この交流で、年長児は地域の高齢者の方との関わりを通して、年上の人に優しくしてもらう嬉しさを感じていました。そして、この経験が後日、年長組のカレーパーティーでも生かされていました。

年長児は自分たちが育てて掘ったジャガイモで年少児や年中児にもごちそうしてあげよう！と考え、カレーパーティーをすることにしました。年長児は、カレーに必要な材料を相談して買い物に行き、全園児分のカレーに必要な食材を買ってくると、年中・年少児に見せてくれました。また、ホールで一緒に食べることを知らせるために、絵をかいてカレーパーティーの招待状をつくりました。「飾りつけもしたらいい」という年長児からのアイディアで、表示や輪飾りもつくり、ホールを飾りつけました。

カレーパーティー当日、年長児は同じテーブルで隣に座る年中児と手を繋ぎ、優しく案内してくれました。初めは緊張していた年中児も、年長組が優しく声を掛けてくれたことで安心して席につき、一緒にカレーを食べていました。（年少児は、初めての経験なので、同じホール内で、担任保育者や同じクラスの幼児と一緒に机で食べました。）

これまでに、いろいろな人に優しくしてもらった経験から、今度は年下の子のことを思い、自然な形で優しく動けるようになった年長児の姿に成長を感じたカレーパーティーでした。

今回は、行事を通じた異年齢との関わりの中での様子についてお知らせしましたが、日々の遊びや生活の中でも、異年齢の関わりが見られるのが、西荻北子供園の良さです。今後も、優しさや思いやりの気持など、幼児の豊かな心の育ちを大切にしていきます。



子どもたちの様子と今月のねらい



3歳児 うさぎ組

水遊びが始まりました。初めは恐る恐る水に触れ、水着が濡れることに戸惑う姿も見られましたが、回数を重ねるにつれ全身びしょ濡れになって楽しむようになりました。水車や金魚すくいなど遊具を使ってじっくりと楽しむ姿もあれば、担任と水の掛け合いをしながら一緒に遊ぶことを楽しむ姿もあります。今後は大きなビニールプールにも入るため、水の中で動く心地よさを感じられると思います。夏ならではの遊びを子どもたちと一緒にたくさん楽しんでいきます。

<今月のねらい>

- 自分のしたいことを見つけて遊んだり、同じ場にいる幼児と関わったりすることを楽しむ。
- 水遊びに喜んで参加し、水の冷たさや感触を楽しみながら開放感を味わう。
- 子供園の生活の流れが分かり、自分でできることをやってみようとする。

<家庭との連携>

梅雨に入り、湿度が高い日が続きます。喉の渇きに気づきにくい時期でもあるため、園では生活の節目に水分補給の時間を設けたり、遊びの途中でも個々の様子を確認したりしています。ご家庭でも水や麦茶など、糖分のない飲み物で水分補給をしていきましょう。

4歳児 くま組

プール遊びの活動が始まりました。プールの水の冷たさを感じながら、水のしぶきを浴びたり、水の中で動いたりすることに少しずつ慣れていくところです。

友達と一緒に同じものを持って遊んだり、同じ場で「～しよう！」と声を掛け合ったりするなど、友達との関わりが増えてきました。オオカミとコブタの鬼遊びでも、保育者や友達と誘い合って遊び始めています。オオカミがコブタの家の前にきて、「ふーのふーのふー！」と掛け声を掛けると、コブタは逃げ回ります。それぞれのお面があることでなりきって動くことを楽しんでいます。

<今月のねらい>

- 自分の思いや言葉や動きで表して遊ぶ楽しさを味わう。
- 水に触れて遊ぶ中で、心地よさや開放感を味わう。
- 園生活に必要な身の回りのことが分かり、自分でやってみようとする。

<家庭との連携>

プール後はシャワーを浴びて、タオルで体を拭いています。体の中で濡れているところがあっても気付かなかったり、拭いてもらうのを待ったりする姿がよく見られます。髪や背中、足、腹など、自分で拭くことができるように、是非ご家庭でもやり方を知らせてやってみてください。

暑い日が続いたり、プールに入ったりすることで、体が疲れやすくなる時期です。帰った後はたっぷり体を休めてくださいね。

5歳児 ぞう組

暑い日も増え、プールや水遊びが気持ちのよい季節になりました。ぞう組も、プールに入ることと期待感をもち、水の気持ちよさを感じたり、泳いだりすることを楽しんでいます。

また、6月中旬にじゃがいもを収穫して、「カレーパーティ」をしました。学級で共通のめあてをもって、買い物やホールの装飾・準備などを進め、年下の子どもたちに喜んでもらい、ぞう組も満足した表情を浮かべていました。

今月は、普段の遊びを楽しむ中で、七夕や子供園まつり等の行事にも興味をもち、友達と一緒に主体的に遊びや行事を進められるよう、援助していきます。

<今月のねらい>

- 自分なりのめあてをもって遊び、試したり、工夫したりしながら実現していこうとする。
- やりたいことや行事に向け必要なことを考えて、自分なりの見通しをもって進める。
- 水の気持ちよさを感じながら、水遊びやプール遊びを楽しむ。

<家庭との連携>

プールが始まるにあたって、「生命（いのち）の安全教育」として、自分の体も相手の体も大切にすることやプライベートゾーンについて話をしました。自分の体が見えないよう、ラップタオルを使って男女に分かれて着替えをしています。ラップタオルの中で着替えることにまだ慣れていない姿もありますので、ぜひご家庭でも練習をお願いいたします。

ほしグループ 長時間保育

日中に水遊びやプール遊びが入るようになり、ほしグループの時間はゆったりと過ごすことが多くなりました。保育室に用意した洗濯ホースを使ったビー玉転がしでは、「僕も入れて。」「いいよ。」「ここをこうしたら、うまくいくんじゃない?」と、異学年児の間でもやり取りをして遊ぶ姿が見られています。また、紙コップをたくさん用意して紙コップタワー遊びも始めました。自分の力で、思い思いにカップを重ね、「見て!できたよ。」「すごいでしょ!」と、自分の背丈以上の作品を作っています。途中で倒れても「大丈夫、大丈夫。」と、やり直す姿に、一人一人の成長が見られます。

製作遊びでは、ローラー、タンポを使った絵具遊びだけでなく、洗濯糊を使った色付けも楽しみました。感触の違いや色合いの違いに面白さを感じてたくさん作っていました。それぞれを組み合わせ、傘を作り、壁面に飾っています。今月は、夏休みにも入りますので、夏休みだからこそ、のびのびと大胆に楽しめる遊びをしていきたいです。

